



平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月4日

上場会社名 株式会社アシックス 上場取引所 東  
 コード番号 7936 URL <http://corp.asics.com/jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 尾山 基  
 CEO  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 加藤 勲 (TEL) 078-303-2213  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績 (平成29年1月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	203,735	△3.3	16,075	△17.1	18,069	5.0	11,687	△1.4
28年12月期第2四半期	210,681	△5.0	19,392	△8.8	17,201	△13.6	11,849	△18.4

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 1,246百万円( -%) 28年12月期第2四半期 △19,758百万円( -%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
29年12月期第2四半期	61	57	58	10
28年12月期第2四半期	62	43	58	96

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	332,243	198,066	59.2
28年12月期	342,812	201,207	58.3

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 196,551百万円 28年12月期 199,936百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
28年12月期	—	—	—	23.50	23.50	—
29年12月期	—	—	—	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	23.50	23.50	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想 (平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	420,000	5.2	22,000	△13.6	21,000	△10.3	13,000	△16.5	68	48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は、添付資料12ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期2Q	199,962,991株	28年12月期	199,962,991株
② 期末自己株式数	29年12月期2Q	10,140,354株	28年12月期	10,139,476株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期2Q	189,823,115株	28年12月期2Q	189,819,100株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は平成29年8月4日(金)に当社ホームページ(<http://corp.asics.com/jp/>)に掲載いたします。

(四半期決算説明会資料の入手方法について)

当社は、平成29年8月8日(火)に投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する四半期決算説明会資料については、開催同日に当社ホームページ(<http://corp.asics.com/jp/>)に掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(セグメント情報等)	11
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	12
(追加情報)	12
3. 補足情報	13
(1) 連結分類別売上高明細表	13
(2) 地域別売上高	13
(3) 在外子会社為替換算レート	14
(4) 報告セグメント別売上高増減比、セグメント利益増減比およびセグメント利益率	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるスポーツ用品業界は、アメリカでは減速傾向にあるものの、健康志向によるスポーツへの関心の高まりや、日常でのスポーツ用品利用の拡大を背景に、堅調に推移しました。

このような情勢のもと、当社グループは、中期経営計画「ASICS Growth Plan (AGP)2020」に基づき、お客様の嗜好の変化に応じた高付加価値商品の発売等を通して、グローバルレベルでの顧客基盤の拡大、ブランド価値の向上を図りました。

直営店の展開では、明るく開放感のある新コンセプトの店舗を通して、顧客基盤の拡大と売上拡大を目指しました。アシックス初のランニングに特化した直営店として2007年にオープンした「アシックスストア東京」は、ランニングだけでなくトレーニングカテゴリーの商品も拡充させ、幅広い層のランナーやフィットネスを目的としたお客様に向けた提案型店舗としてリニューアルオープンしました。また、アシックス初となるウィメンズ専門の直営店「アシックスウィメン マロニエゲート銀座2」を東京にオープンしました。加えて、アムステルダム、ロンドンの直営店についても刷新したほか、オーストラリアのブリスベンにも新コンセプトの直営店をオープンし、各地域でのブランド展開の拡大に注力し、アシックスグループブランドの直営店舗数は、全世界で852店となりました。

コア事業であるランニングでは、優れたクッション性と軽量性を両立させたアシックス独自のミッドソール素材「FlyteFoam」を採用し、さらに、かかとのフィット性を高めた高機能ランニングシューズ「GEL-KAYANO 24」を市場投入しました。また、東京、パリ、ストックホルムをはじめとする世界各地のマラソン大会への協賛を行いました。加えて、ファンランナー向けランニングシューズの発売に際して、各国から招待したファンランナーが、ロサンゼルス市街の名所に仕掛けられたアトラクションを体験しながらランニングを楽しむ体験型イベント「The Big Chase」を開催し、露出を図りました。

トレーニングでは、活動的な若者に向けたプレミアムコレクションを通じて、ブランド価値向上を目指しました。日本の伝統的な美意識に通じるシンプルかつミニマムをコンセプトとし、洗練されたデザインと高い機能性を兼ね備えたスポーツアパレル「JYUNI」ホワイトコレクションに次いで、「JYUNI」ブラックコレクションをグローバルで発表しました。

コアパフォーマンススポーツでは、グローバルでのブランド認知拡大、商品の信頼性のさらなる向上を目的として、「FlyteFoam」を採用した高機能テニスシューズ「COURT FF」に続き、同素材を採用した高機能バレーボールシューズ「VOLLEY ELITE FF」を市場投入しました。また、国際陸上競技連盟（IAAF）とオフィシャルパートナー契約を締結し、3月のIAAF世界クロスカントリー選手権大会に続き、4月には「2017ワールドリレーズ」をサポートしました。

ライフスタイルでは、2つのブランドによって幅広いお客様に対してそれぞれのブランド認知向上に努めました。アシックスタイガーブランドでは、ニット素材を使った新作シューズ「GEL-KAYANO TRAINER KNIT」を市場投入し、動画コンテンツ、イベントなどを通してグローバルキャンペーンを展開しました。また、ソウルと上海に、直営店をオープンし、アジア地域におけるアシックスタイガーブランドの浸透を図りました。オニツカタイガーブランドでは、ニューヨーク・ソーホー地区にポップアップストアをオープンし、ブランドイベントを開催しました。また、日本の伝統的な技術を用いたシューズを市場投入し、クラフトマンシップを訴求しました。

国内事業では、野球日本代表「侍ジャパン」が掲げる「野球界、そしてスポーツ界の発展、ひいては我が国のスポーツ文化の発展に寄与する」という理念に共感し、株式会社NPBエンタープライズと侍ジャパンダイヤモンドパートナー契約の締結について合意しました。また、スポーツを軸としたライフスタイルの提案をコンセプトに、カフェやフィットネススタジオなどを設けた新施設「ASICS CONNECTION TOKYO」を東京都墨田区にオープンしました。

また、日本製の特長を生かした高付加価値商品群のシューズ生産拠点として、山陰アシックス工業の新工場棟の建設および、既存棟の改築を実施しました。

その他、ダイバーシティの社内浸透、女性社員のキャリア意識向上を目的に、女性社員向けキャリア研修の対象を若年層にも広げ、実施しました。また、女性の活躍推進に関する状況などが優良な企業として、厚生労働大臣より「えるぼし」（最高位）の認定を受けたことに続き、「ひょうご女性の活躍企業表彰」の表彰企業となりました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は203,735百万円と前年同期間比3.3%の減収（前年度の為替換算レートを適用した場合2.4%減）となりました。このうち国内売上高は、ランニングシューズが好調に推移した一方で、スポーツウエアが低調であったため、54,263百万円と前年同期間比3.4%の減収となりました。海外売上高は、オセアニア/東南・南アジア地域および東アジア地域でランニングシューズおよびオニツカタイガーシューズなどが好調でした。しかしながら、欧州地域および米州地域が低調であったことおよび円高による為替換算レートの影響もあり、149,472百万円と前年同期間比3.3%の減収（前年度の為替換算レートを適用した場合2.1%減）となりました。

売上総利益は原価率の改善などにより、94,545百万円と前年同期間比0.7%の増益となりました。販売費及び一般管理費は、直営店の出店拡大に伴う費用の増加および多様なデジタル戦略を展開するための費用の増加などにより、78,469百万円と前年同期間比5.3%の増加となりました。その結果、営業利益は16,075百万円と前年同期間比17.1%の減益となりました。経常利益は、前年同期間は為替差損を計上しましたが、当第2四半期連結累計期間は為替差益を計上したことなどにより、18,069百万円と前年同期間比5.0%の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は11,687百万円と前年同期間比1.4%の減益となりました。

報告セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 日本地域

日本地域におきましては、ランニングシューズが好調に推移した一方で、スポーツウエアが低調であったため、売上高は63,874百万円(前年同期間比2.9%減)となりました。セグメント利益につきましては、原価率の改善はありましたが減収の影響などにより、4,463百万円(前年同期間比14.1%減)となりました。

② 米州地域

米州地域におきましては、米国が低調であったことなどにより、売上高は55,656百万円(前年同期間比6.1%減、前年度の為替換算レートを適用した場合5.9%減)となりました。一方で、セグメント利益につきましては原価率の改善および経費の発生時期が下期にずれ込んだことに加え、前年同期間に貸倒引当金繰入額などを計上したことにより、3,548百万円(前年同期間比394.9%増、前年度の為替換算レートを適用した場合396.2%増)となりました。

③ 欧州地域

欧州地域におきましては、小売市場の変化と競争の激化などの影響に加え、為替換算レートの影響により、売上高は50,177百万円(前年同期間比10.0%減、前年度の為替換算レートを適用した場合7.7%減)となりました。セグメント利益につきましては、減収の影響などにより3,595百万円(前年同期間比40.0%減、前年度の為替換算レートを適用した場合38.4%減)となりました。

④ オセアニア/東南・南アジア地域

オセアニア/東南・南アジア地域におきましては、ランニングシューズおよびオニツカタイガーシューズが好調であったことにより、売上高は14,454百万円(前年同期間比15.5%増、前年度の為替換算レートを適用した場合13.7%増)となりました。セグメント利益につきましては、2,383百万円(前年同期間比6.7%増、前年度の為替換算レートを適用した場合4.9%増)となりました。

⑤ 東アジア地域

東アジア地域におきましては、特に中国子会社で引き続きランニングシューズおよびオニツカタイガーシューズなどが好調であったことにより、売上高は25,098百万円(前年同期間比10.8%増、前年度の為替換算レートを適用した場合12.4%増)となりました。セグメント利益につきましては、4,217百万円(前年同期間比5.1%増、前年度の為替換算レートを適用した場合8.9%増)となりました。

⑥ その他事業

その他事業におきましては、ホグロフスブランドのアウトドアシューズなどが低調であったことおよび為替換算レートの影響により、売上高は3,807百万円(前年同期間比8.2%減、前年度の為替換算レートを適用した場合2.3%減)となり、セグメント損失は430百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態といたしましては、総資産332,243百万円(前連結会計年度末比3.1%減)、負債の部合計134,176百万円(前連結会計年度末比5.2%減)、純資産の部合計198,066百万円(前連結会計年度末比1.6%減)でした。

流動資産は、有価証券および売上債権が増加したものの、現金及び預金、たな卸資産および短期デリバティブ資産の減少によるその他の資産の減少などにより、243,538百万円(前連結会計年度末比3.0%減)となりました。

固定資産は、長期デリバティブ資産の減少による投資その他の資産の減少などにより、88,704百万円(前連結会計年度末比3.2%減)となりました。

流動負債は、仕入債務の減少などにより、65,911百万円(前連結会計年度末比3.1%減)となりました。

固定負債は、返済期限が1年以内となった借入金の固定負債から流動負債への振り替えによる長期借入金の減少および繰延税金負債の減少などにより、68,265百万円(前連結会計年度末比7.2%減)となりました。

株主資本は、利益剰余金の増加により、192,560百万円(前連結会計年度末比3.9%増)となりました。

その他の包括利益累計額は、繰延ヘッジ損益の減少などにより、3,991百万円(前連結会計年度末比72.7%減)となりました。

また、キャッシュ・フローにおきましては、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、50,262百万円と前連結会計年度末に比べ13,376百万円減少しました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は8,235百万円となり、前年同期間に比べ6,009百万円の収入減少となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益18,166百万円、減価償却費4,418百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加額5,418百万円、法人税等の支払額4,232百万円、仕入債務の減少額4,197百万円であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は17,224百万円となり、前年同期間に比べ9,016百万円の支出増加となりました。支出の主な内訳は、有価証券の純増加額9,344百万円、有形固定資産の取得による支出4,378百万円であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は5,838百万円となり、前年同期間に比べ15,387百万円の支出減少となりました。支出の主な内訳は、配当金の支払額4,453百万円、長期借入金の返済による支出1,550百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の見通しにつきましては、平成29年2月13日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	64,485	51,136
受取手形及び売掛金	71,519	77,133
有価証券	3,947	13,170
商品及び製品	87,071	83,124
仕掛品	352	374
原材料及び貯蔵品	752	791
繰延税金資産	5,966	6,434
その他	20,444	14,584
貸倒引当金	△3,354	△3,211
流動資産合計	251,185	243,538
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	35,001	35,805
減価償却累計額	△18,999	△19,689
建物及び構築物(純額)	16,002	16,115
機械装置及び運搬具	4,155	4,269
減価償却累計額	△2,832	△2,909
機械装置及び運搬具(純額)	1,323	1,360
工具、器具及び備品	24,041	26,259
減価償却累計額	△16,401	△18,622
工具、器具及び備品(純額)	7,640	7,636
土地	7,327	7,334
リース資産	8,375	7,974
減価償却累計額	△3,123	△3,076
リース資産(純額)	5,252	4,898
建設仮勘定	396	1,109
有形固定資産合計	37,942	38,455
無形固定資産		
のれん	12,383	11,451
その他	15,167	15,308
無形固定資産合計	27,551	26,759
投資その他の資産		
投資有価証券	11,499	12,932
長期貸付金	69	67
退職給付に係る資産	0	—
繰延税金資産	3,294	3,606
その他	11,621	7,221
貸倒引当金	△352	△338
投資その他の資産合計	26,132	23,489
固定資産合計	91,626	88,704
資産合計	342,812	332,243

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,666	18,403
短期借入金	2,910	5,799
リース債務	679	650
未払費用	17,575	17,669
未払法人税等	1,404	2,528
未払消費税等	3,154	4,838
繰延税金負債	2,269	468
返品調整引当金	339	337
賞与引当金	664	892
その他	16,381	14,323
流動負債合計	68,047	65,911
固定負債		
社債	20,000	20,000
新株予約権付社債	30,065	30,050
長期借入金	4,000	100
リース債務	5,254	4,952
繰延税金負債	5,558	4,278
退職給付に係る負債	4,891	5,169
資産除去債務	1,034	1,059
その他	2,753	2,656
固定負債合計	73,557	68,265
負債合計	141,604	134,176
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	23,972	23,972
資本剰余金	17,415	17,415
利益剰余金	151,595	158,840
自己株式	△7,666	△7,668
株主資本合計	185,316	192,560
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,874	4,050
繰延ヘッジ損益	12,806	988
在外子会社資産再評価差額金	55	36
為替換算調整勘定	△2,033	△1,021
退職給付に係る調整累計額	△82	△62
その他の包括利益累計額合計	14,620	3,991
新株予約権	180	238
非支配株主持分	1,089	1,276
純資産合計	201,207	198,066
負債純資産合計	342,812	332,243



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	210,681	203,735
売上原価	116,721	109,024
返品調整引当金戻入額	305	267
返品調整引当金繰入額	365	433
売上総利益	93,899	94,545
販売費及び一般管理費	74,507	78,469
営業利益	19,392	16,075
営業外収益		
受取利息	213	202
受取配当金	126	172
為替差益	—	1,702
補助金収入	219	279
その他	424	225
営業外収益合計	984	2,581
営業外費用		
支払利息	386	357
為替差損	2,512	—
その他	276	230
営業外費用合計	3,175	587
経常利益	17,201	18,069
特別利益		
固定資産売却益	4	0
投資有価証券売却益	7	65
投資有価証券償還益	—	93
特別利益合計	12	159
特別損失		
固定資産売却損	2	1
固定資産除却損	60	60
投資有価証券評価損	8	1
特別損失合計	72	62
税金等調整前四半期純利益	17,141	18,166
法人税等	5,116	6,297
四半期純利益	12,024	11,868
非支配株主に帰属する四半期純利益	174	180
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,849	11,687

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	12,024	11,868
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,996	175
繰延ヘッジ損益	△10,414	△11,817
在外子会社資産再評価差額金	△18	△18
為替換算調整勘定	△19,384	1,018
退職給付に係る調整額	29	19
その他の包括利益合計	△31,783	△10,622
四半期包括利益	△19,758	1,246
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△19,778	1,058
非支配株主に係る四半期包括利益	19	187

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	17,141	18,166
減価償却費	3,993	4,418
のれん償却額	496	677
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,956	△163
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	238	291
賞与引当金の増減額(△は減少)	19	241
投資有価証券評価損益(△は益)	8	1
投資有価証券売却損益(△は益)	△7	△65
投資有価証券償還損益(△は益)	—	△93
受取利息及び受取配当金	△340	△374
支払利息	386	357
為替差損益(△は益)	927	△8
有形固定資産除売却損益(△は益)	59	60
その他の損益(△は益)	1,453	△1,620
売上債権の増減額(△は増加)	△10,592	△5,418
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,113	3,928
その他の資産の増減額(△は増加)	△1,367	△3,197
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,486	△4,197
未払消費税等の増減額(△は減少)	858	1,499
その他の負債の増減額(△は減少)	814	△2,062
小計	18,674	12,440
利息及び配当金の受取額	391	386
利息の支払額	△423	△358
事業構造改革費用の支払額	△43	—
法人税等の支払額	△4,354	△4,232
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>14,244</b>	<b>8,235</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△67	△301
定期預金の払戻による収入	5,800	277
有形固定資産の取得による支出	△2,038	△4,378
有形固定資産の除却による支出	△42	△56
有形固定資産の売却による収入	42	13
無形固定資産の取得による支出	△2,050	△1,519
有価証券の純増減額(△は増加)	178	△9,344
投資有価証券の取得による支出	△335	△1,134
投資有価証券の売却及び償還による収入	32	220
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△9,700	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	24	—
事業譲渡による収入	7	—
短期貸付金の純増減額(△は増加)	65	44
長期貸付けによる支出	△1	△6
長期貸付金の回収による収入	2	6
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△123	△1,045
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△8,207</b>	<b>△17,224</b>

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,336	429
長期借入れによる収入	—	100
長期借入金の返済による支出	△2,429	△1,550
社債の償還による支出	△11,000	—
自己株式の取得による支出	△1	△1
自己株式の売却による収入	0	0
非支配株主からの払込みによる収入	110	—
リース債務の返済による支出	△407	△361
配当金の支払額	△4,451	△4,453
非支配株主への配当金の支払額	△10	△0
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△699	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△21,225	△5,838
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,674	1,451
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△16,863	△13,376
現金及び現金同等物の期首残高	46,015	63,638
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,151	50,262

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営執行会議が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、世界本社として主に経営管理および商品開発を行っております。

当社グループは、主にスポーツ用品等を製造販売しており、国内においてはアシックスジャパン株式会社およびその他の国内法人が、海外においては米州、欧州・中近東・アフリカ、オセアニア/東南・南アジア、東アジアの各地域を、アシックスアメリカコーポレーション、アシックスヨーロッパB.V.、アシックスオセアニアPTY. LTD. およびアシックスアジアPTE. LTD.、亞瑟士(中国)商貿有限公司およびアシックス 코리아コーポレーションが、それぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

「日本地域」、「米州地域」、「欧州地域」(中近東・アフリカを含む)、「オセアニア/東南・南アジア地域」、「東アジア地域」は、主にスポーツ用品等を販売しており、「その他事業」は、ホグロフスブランドのアウトドア用品を製造および販売しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年6月30日)

(単位:百万円)

	日本地域	米州地域	欧州地域	オセアニア /東南・ 南アジア 地域	東アジア 地域	その他 事業	合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	56,194	59,278	55,755	12,515	22,657	3,958	210,359	321	210,681
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	9,592	12	3	0	0	188	9,797	△9,797	—
計	65,786	59,290	55,759	12,516	22,658	4,146	220,157	△9,475	210,681
セグメント利益 又は損失	5,198	717	5,988	2,233	4,014	△517	17,634	1,757	19,392

(注) 1. (1) セグメント売上高の調整額は、報告セグメントに含まれない会社の売上高を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに含まれない会社の利益又は損失を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)

(単位:百万円)

	日本地域	米州地域	欧州地域	オセアニア ／東南・ 南アジア 地域	東アジア 地域	その他 事業	合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	54,263	55,652	50,112	14,454	25,076	3,685	203,244	491	203,735
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	9,610	4	64	—	21	122	9,823	△9,823	—
計	63,874	55,656	50,177	14,454	25,098	3,807	213,068	△9,332	203,735
セグメント利益 又は損失	4,463	3,548	3,595	2,383	4,217	△430	17,779	△1,703	16,075

(注) 1. (1) セグメント売上高の調整額は、報告セグメントに含まれない会社の売上高を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに含まれない会社の利益又は損失を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項がないため記載しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項がないため記載しておりません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 補足情報

## (1) 連結分類別売上高明細表

(分類)		前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)		増減 (△は減)	
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	比率 (%)
スポーツシューズ類	国内	38,145	18.1	37,918	18.6	△226	△0.6
	海外	136,205	64.6	132,538	65.1	△3,666	△2.7
	計	174,350	82.7	170,457	83.7	△3,892	△2.2
スポーツウェア類	国内	12,187	5.8	10,380	5.1	△1,806	△14.8
	海外	14,536	6.9	13,282	6.5	△1,253	△8.6
	計	26,723	12.7	23,663	11.6	△3,059	△11.5
スポーツ用具類	国内	5,841	2.8	5,963	2.9	122	2.1
	海外	3,766	1.8	3,650	1.8	△115	△3.1
	計	9,607	4.6	9,614	4.7	6	0.1
合計	国内	56,173	26.7	54,263	26.6	△1,910	△3.4
	海外	154,507	73.3	149,472	73.4	△5,035	△3.3
	計	210,681	100.0	203,735	100.0	△6,946	△3.3

(注) スポーツシューズ類 : ランニングシューズ、陸上競技・マラソン・サッカー・バレーボール・バスケットボール・ベースボール・テニス等の各種競技用シューズ、ウォーキングシューズ、スクールスポーツシューズ、ライフスタイルシューズ、ジュニアシューズ、キッズシューズ等

スポーツウェア類 : トレーニングウェア、アスレチックウェア、スクールスポーツウェア、ベースボールウェア、スイムウェア、ライフスタイルウェア、アウトドアウェア等

スポーツ用具類 : ベースボール・グラウンドゴルフ・パークゴルフ等の各種用具、スポーツバッグ、スポーツネット、サポーター、陸上競技用機器等

## (2) 地域別売上高

前第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)

(単位:百万円)

日本	米州	欧州	東アジア	その他	計
56,173	59,601	56,655	23,077	15,172	210,681

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)

(単位:百万円)

日本	米州	欧州	東アジア	その他	計
54,263	56,155	50,972	25,463	16,881	203,735

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (3) 在外子会社為替換算レート

	USD	EUR	AUD	RMB	KRW	SEK
平成28年12月期第2四半期 (円)	113.05	125.36	82.98	17.22	0.0959	13.54
平成29年12月期第2四半期 (円)	112.75	122.26	84.98	16.42	0.0984	12.73
増減 (円)	△0.30	△3.10	+2.00	△0.80	+0.0025	△0.81
増減比 (%)	△0.3	△2.5	+2.4	△4.6	+2.6	△6.0

(注) 上記にて在外子会社の損益計算書を換算しております。

## (4) 報告セグメント別売上高増減比、セグメント利益増減比およびセグメント利益率

		日本地域	米州地域	欧州地域	オセアニア/ 東南・ 南アジア地域	東アジア 地域	その他事業
売上高増減比 (%)	(外貨)	—	△5.9	△7.7	+13.7	+12.4	△2.3
	(邦貨)	△2.9	△6.1	△10.0	+15.5	+10.8	△8.2
セグメント 利益増減比 (%)	(外貨)	—	+396.2	△38.4	+4.9	+8.9	—
	(邦貨)	△14.1	+394.9	△40.0	+6.7	+5.1	—
セグメント 利益率 (%)		7.0	6.4	7.2	16.5	16.8	△11.3